

TOELL



2021年4月期 第2四半期 決算補足説明資料

2020年12月11日

株式会社トーエル

証券コード：3361

2021年4月期 第2四半期 実績

2021年4月期 第2四半期 連結損益計算書

■売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による販売量減少、エネルギー事業におけるLPガス輸入価格の安値推移に伴う販売価格下落の影響を受けた為、前年同四半期比6.0%減となった。

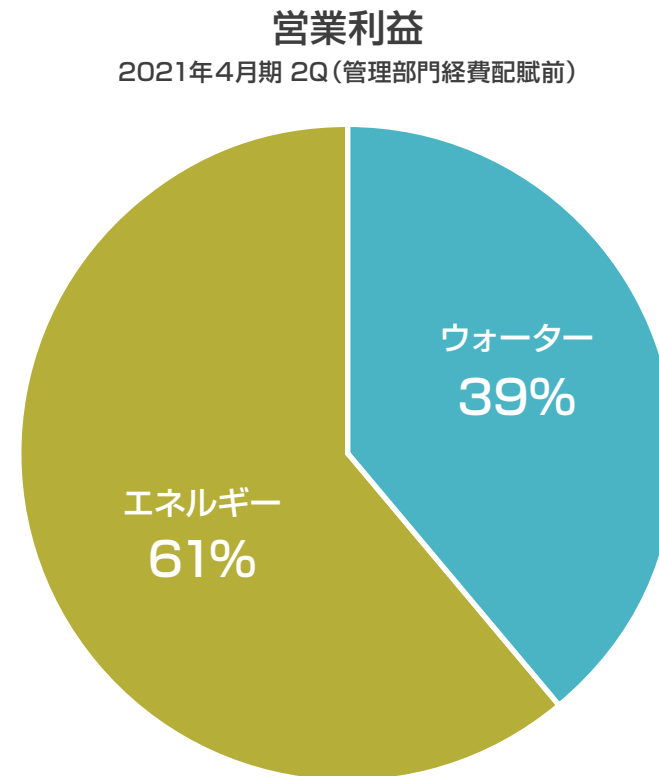
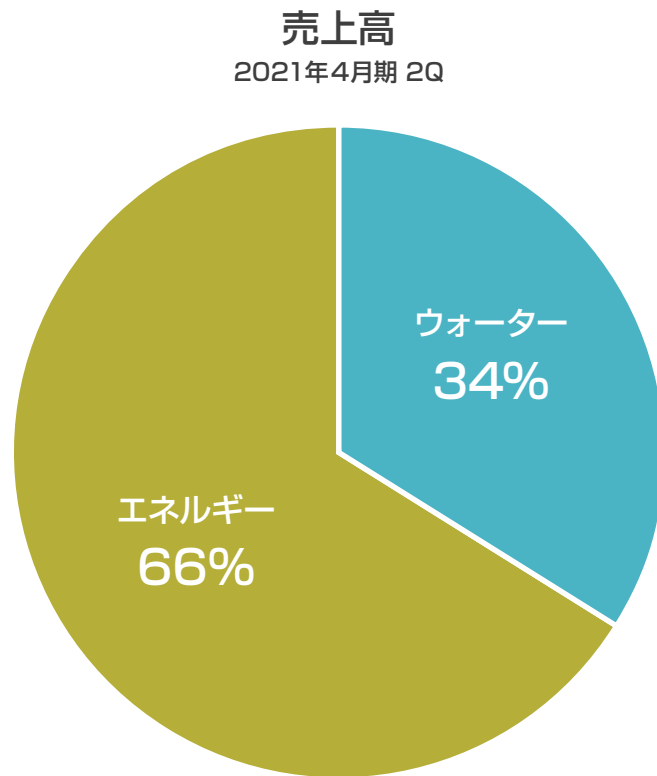
■営業利益は、修繕、消耗品購入など経費の先送りと販売促進費等の削減に努めたことで、前年同四半期比58.5%増となった。

(単位：百万円)

	2020年4月期 2Q(実績)	2021年4月期 2Q(実績)	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	10,340	9,725	-615	-6.0%
売上原価	5,532	4,977	-555	-10.0%
売上総利益	4,807	4,748	-59	-1.2%
売上総利益率(%)	46.5	48.8	+2.3pt	
販売費及び一般管理費	4,476	4,222	-253	-5.7%
営業利益	331	525	+194	+58.5%
営業利益率(%)	3.2	5.4	+2.2pt	
経常利益	356	542	+186	+52.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	207	311	+104	+50.2%
1株当たり四半期純利益(円)	10.49	15.71	+5.22	+49.8%

売上高と営業利益（セグメント別構成比）

■当第2四半期の売上高構成比は、エネルギー事業66%（前2Q比-2%）、ウォーター事業34%（前2Q比+2%）、営業利益の構成比は、エネルギー事業61%（前2Q比-2%）、ウォーター事業39%（前2Q比+2%）となった。



2021年4月期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年4月末	2020年10月末	増減	内 容
流動資産合計	9,087	10,281	+1,193	現金及び預金 +1,888 受取手形及び売掛金 -531
固定資産合計	15,651	15,657	+5	土地 +333
有形固定資産	13,826	13,838	+11	有形リース資産 -322
無形固定資産	272	257	-15	
投資その他の資産	1,551	1,561	+9	
資産合計	24,738	25,938	+1,199	
流動負債合計	4,976	5,985	+1,009	借入金 +1,430 買掛金 -266 未払法人税等 -95
固定負債合計	3,542	3,689	+146	借入金 +248
負債合計	8,519	9,675	+1,156	
株主資本合計	16,009	16,075	+65	資本金 +25 資本準備金 +25
その他の包括利益累計額合計	200	178	-21	為替換算調整勘定 -14
非支配株主持分	9	8	-1	
純資産合計	16,219	16,262	+42	
負債純資産合計	24,738	25,938	+1,199	
流動比率(%)	182.6	171.8	-10.8pt	
自己資本比率(%)	65.5	62.7	-2.8pt	

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2020年4月期 2Q(実績)	2021年4月期 2Q(実績)
営業活動によるキャッシュ・フロー	+1,161	+1,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,174	-725
財務活動によるキャッシュ・フロー	-795	+1,045
期末残高(現金および現金同等物)	+4,523	+6,544

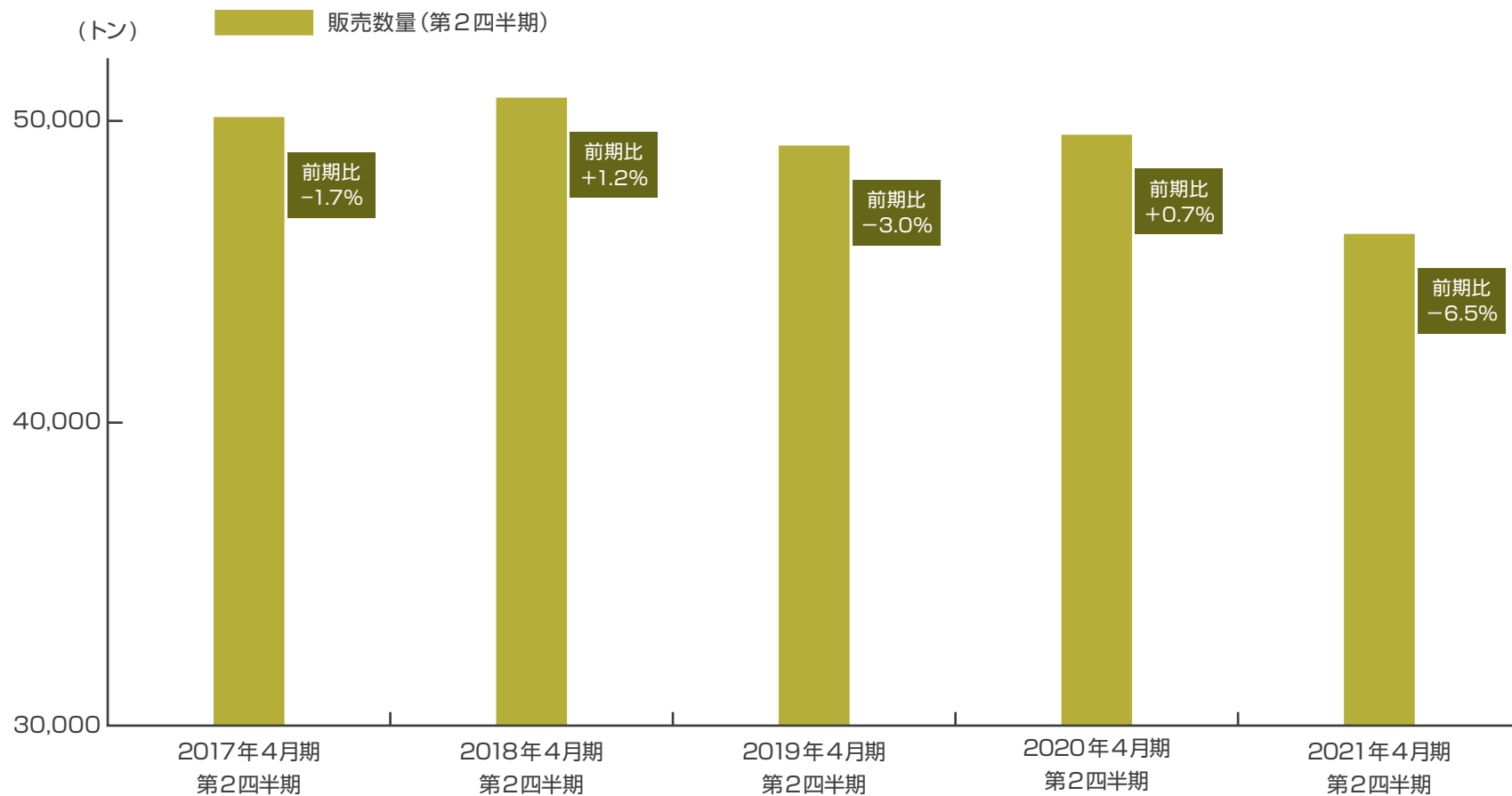
現金及び現金同等物(「資金」): 6,544百万円(前2Q連結累計期間比+44.7% 2,020百万円増)

＜主な要因＞	●税金等調整前当期純利益	:	+523百万円
	●減価償却費	:	+867百万円
	●売上債権の減少	:	+532百万円
	●仕入債務の増加	:	-267百万円
	●固定資産の取得	:	-700百万円
	●短期借入金の純増加額	:	+1,310百万円
	●長期借入れによる収入	:	+600百万円
	●長期借入の返済	:	-231百万円
	●リース債務の返済	:	-336百万円
	●配当金の支払額	:	-297百万円

セグメント別業績

エネルギー事業 / LPガス販売数量

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加により、個人需要は増加したが、法人需要が減少したことにより、販売数量は前年同四半期比6.5%減少した。



エネルギー事業／売上高及び営業利益（連結）

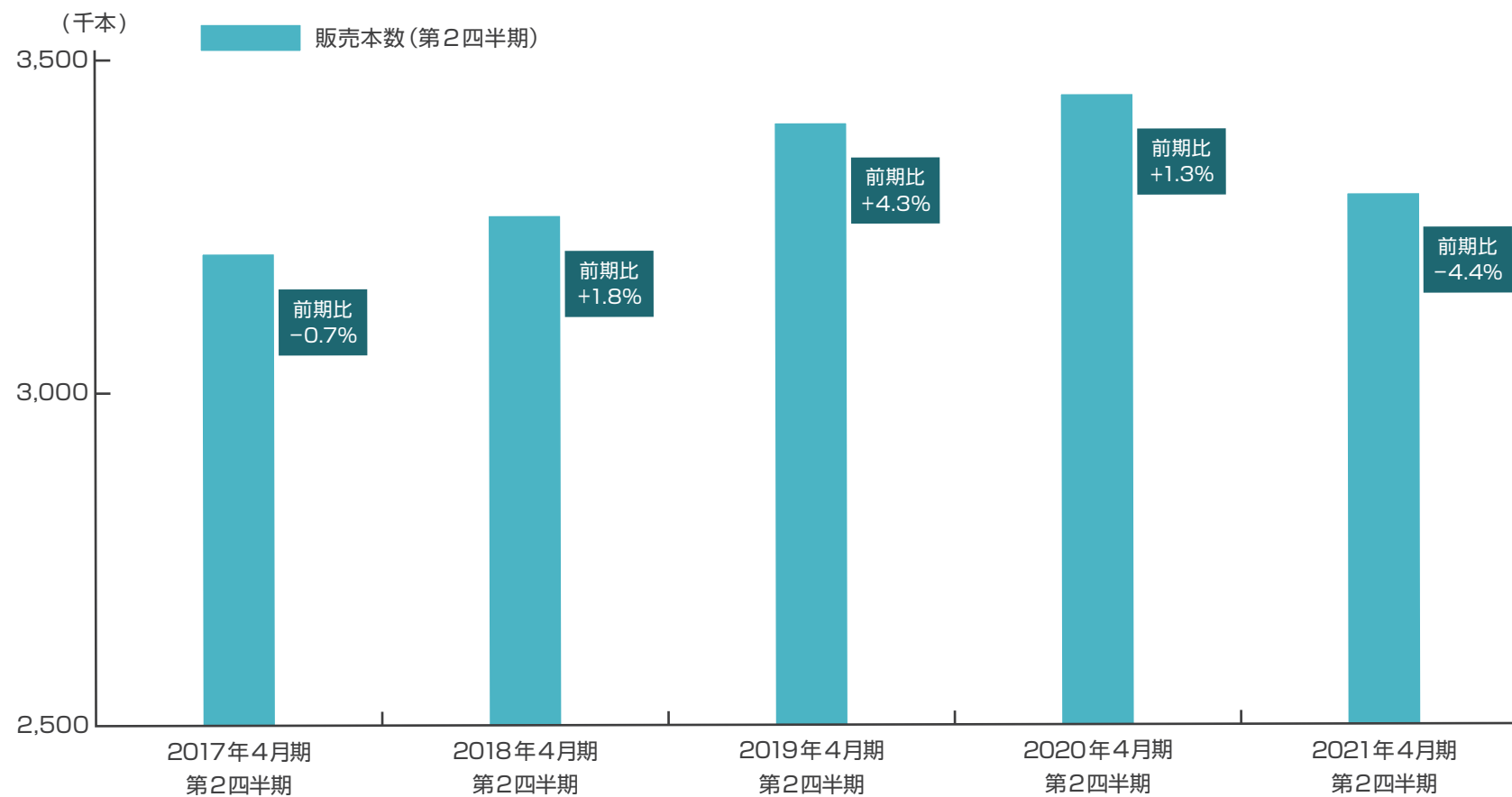
- 売上高は、法人需要減少の影響による販売数量の減少、及びLPガス輸入価格の安値推移による販売価格の下落により、前年同四半期比8.6%の減収となった。
- 営業利益は、経費削減に努めたことにより前年同四半期比6.5%の増益となった。
- 営業利益率は前年同四半期比1.8pt改善した。

（単位：百万円）

連 結	2020年4月期 2Q （実績）	2021年4月期 2Q （実績）	前 期 比
売上高	6,998	6,395	-8.6%
営業利益（管理部門経費配賦前）	750	799	+6.5%
営業利益率（%）	10.7	12.5	+1.8pt

ウォーター事業／ボトル販売本数

新型コロナウイルス感染拡大に伴う在宅時間の増加により家庭用の需要は伸びたが、法人需要の減少が影響し、販売本数は前年同四半期比4.4%減少した。



■ ボトル販売本数は12リットル換算

ウォーター事業／売上高及び営業利益（連結）

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売本数が減少したことにより、前年同四半期比0.4%の減収となった。
- 営業利益は、工場建設に伴う減価償却費および人件費等製造原価の増加があったものの、販売促進費等の効率的な活用と削減により、前年同四半期比16.4%の増益となった。
- 営業利益率は前年同四半期比2.3pt改善した。

(単位：百万円)

連 結	2020年4月期 2Q (実績)	2021年4月期 2Q (実績)	前 期 比
売上高	3,342	3,330	-0.4%
営業利益(管理部門経費配賦前)	442	514	+16.4%
営業利益率(%)	13.2	15.5	+2.3pt

2021年4月期 連結業績予想

2021年4月期 連結業績予想【6/12公表・修正なし】

(単位：百万円)

	2020年4月期 (実績)	2021年4月期 (計画)	前 期 比
売上高	23,016	23,000	-0.1%
売上総利益	10,290	10,360	+0.7%
売上総利益率(%)	44.7	45.0	+0.3pt
営業利益	1,421	1,420	-0.1%
営業利益率(%)	6.2	6.2	+0.0pt
経常利益	1,553	1,500	-3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	994	940	-5.5%
1株当たり当期純利益(円)	50.19	47.41	-5.5%
ROE(%)	6.2	5.7	-0.5pt

■前提：LPガス輸入価格 395ドル/トン 為替レート 108円/ドル

2021年4月期 セグメント別計画【6/12公表・修正なし】

(単位：百万円)

(連結)	2020年4月期 (実績)	2021年4月期 (計画)	前期比
売上高	23,016	23,000	-0.1%
エネルギー事業	16,444	16,300	-0.8%
ウォーター事業	6,572	6,700	+1.9%
営業利益	1,421	1,420	-0.1%
エネルギー事業	2,367	2,335	-1.4%
ウォーター事業	719	803	+11.5%
管理部門経費	-1,665	-1,718	+3.1%
経常利益	1,553	1,500	-3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	994	940	-5.5%
LPガス販売数量(トン)	117,573	118,600	+0.9%
ウォーター販売本数(千本)	6,692	6,840	+2.2%

■前提：LPガス輸入価格 395ドル/トン 為替レート 108円/ドル ■ウォーター販売本数は12リットル換算

計画達成に向けたトーエルの取組み

部門横断的取組み

■TOELLライフラインパッケージによるお客さまサービスの高質化

- LPガス・ウォーター・電気・通信のパッケージ販売により、既存のお客様との取引拡大、及び新規開拓
- お客様の「くらし」に寄り添う企業として強固な事業基盤を構築

■自社配送を強みとする物流戦略

- 事業エリア内の供給密度を高め、物流コスト競争力を強化
- 独自の配送システム構築により配送の合理化を推進

■雇用機会の創出

- 中高齢者、女性の更なる活躍推進
- 独自の働き方改革と業務改革

エネルギー部門

■バルク事業の推進

- バルク工場のワンストップ体制を強みに、関東圏のバルク貯槽入替需要の取り込みを推進

■差別化戦略

- 災害時の強みを生かしたLPガス設備の営業強化
- 高級イチゴの生産販売推進

ウォーター部門

■ウォーターの生産体制強化

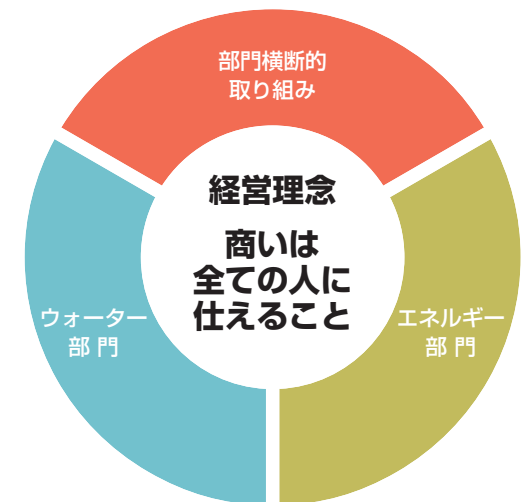
- ハワイ第2工場の稼働により「Pure Hawaiian」の生産体制を強化
- 「アルピナ」「信濃湧水」の生産体制強化に向け、大町第4工場を準備中

■ウォーターの海外展開

- 「信濃湧水」の販路開拓と既存輸出先のシェア拡大

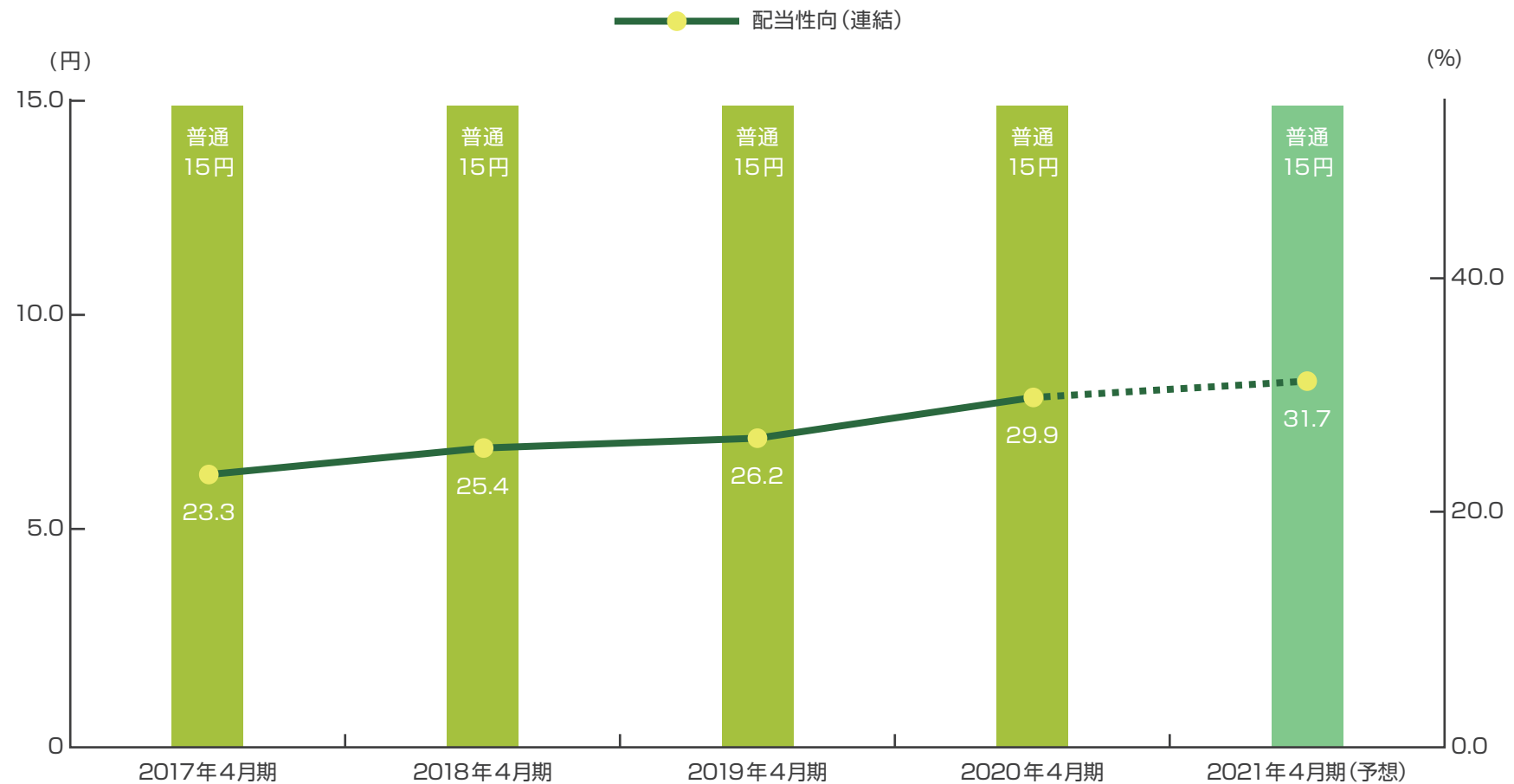
■差別化戦略

- 「高品質な天然の原水」に拘ったピュアウォーターと天然水
- リターナブル、ワンウェイ、ミニペットボトルの多様なボトルラインアップ
- 高濃度水素水サーバーの製品優位性による差別化及びシェア拡大



2021年4月期 配当予想

業績並びに将来の事業展開にも備えつつ、安定的な配当を実施



新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症への対応

当社は、国から事業の継続を求められるライフライン事業者として、徹底した感染予防策をすることでお客様と従業員の安全を図り、お客様の暮らしに必要なLPガス、ウォーターの安定供給に努めています。

■事業継続のための基本方針

- ①お客様、お取引先様、地域社会の皆様、従業員とその家族全ての人の安全確保を第一とする
- ②経済および社会生活に必要な事業とサービスの供給責任、社会的責任を果たすため、生産・サービス・物流活動に関わる各拠点は、感染リスク防止措置を徹底し、事業を継続する

■感染防止対策としての取組み

- ①手洗い・うがい、アルコール消毒の励行
- ②マスク着用
- ③出勤時検温及び体調確認
- ④発熱や体調不良の際は自宅待機
- ⑤時差出勤
- ⑥換気の徹底

2021年4月期 第2四半期 トピックス

ウォーター事業 トピックス ①

ピュアハワイアン 320mL ペットボトル

■インターネットによる通販を中心に国内販売を強化



ウォーター事業 トピックス ②

「Nimitz Factory」の完成で更なる安定供給へ

- 無人・無菌・オールロボットの最新鋭設備を誇るNimitz Factory (ハワイ第2工場) の稼働により Moanalua Factory (ハワイ第1工場) と合わせたハワイでの生産能力は年間最大760万本へ



Nimitz Factory (ハワイ第2工場)

※徹底した感染予防・品質管理のもと、通常通り稼働

ウォーター事業 トピックス ③

更なる安定供給のため大町第4工場準備中

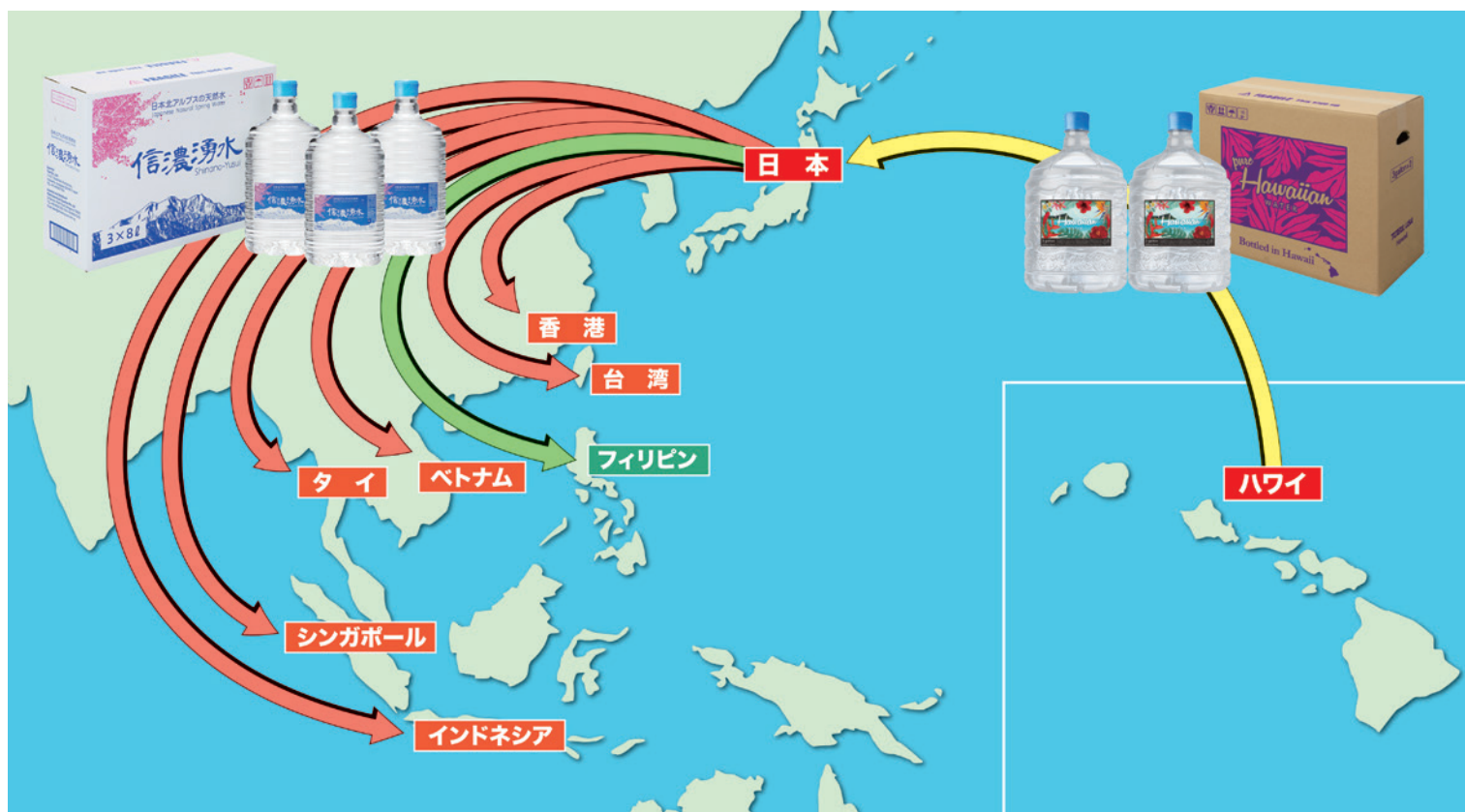
■アルピナ・信濃湧水の需要拡大への備えと、安定供給のための生産体制を更に強化



ウォーター事業 トピックス ④

信濃湧水の輸出先は6カ国に

■更なる販路開拓と既存輸出国内のマーケットシェア拡大を目指す



信濃湧水
Shinano-Yusui



- ← 既存輸出国 (信濃湧水)
- ← 予定輸出国 (信濃湧水)
- ← 既存輸出国 (Pure Hawaiian)

エネルギー事業 トピックス ①

「災害に強いLPガス」の優位性を更にアピール

- LPガスによる非常用発電システムの需要が急増していることを受け、都市ガス圏内も含め営業体制をより強化
- ライフライン事業者として、有事の際もLPガスにより安全と安心をお届け

LPガス非常用発電機



GHP (ガスヒートポンプエアコン)



エネルギー事業 トピックス ②

バルク事業営業強化

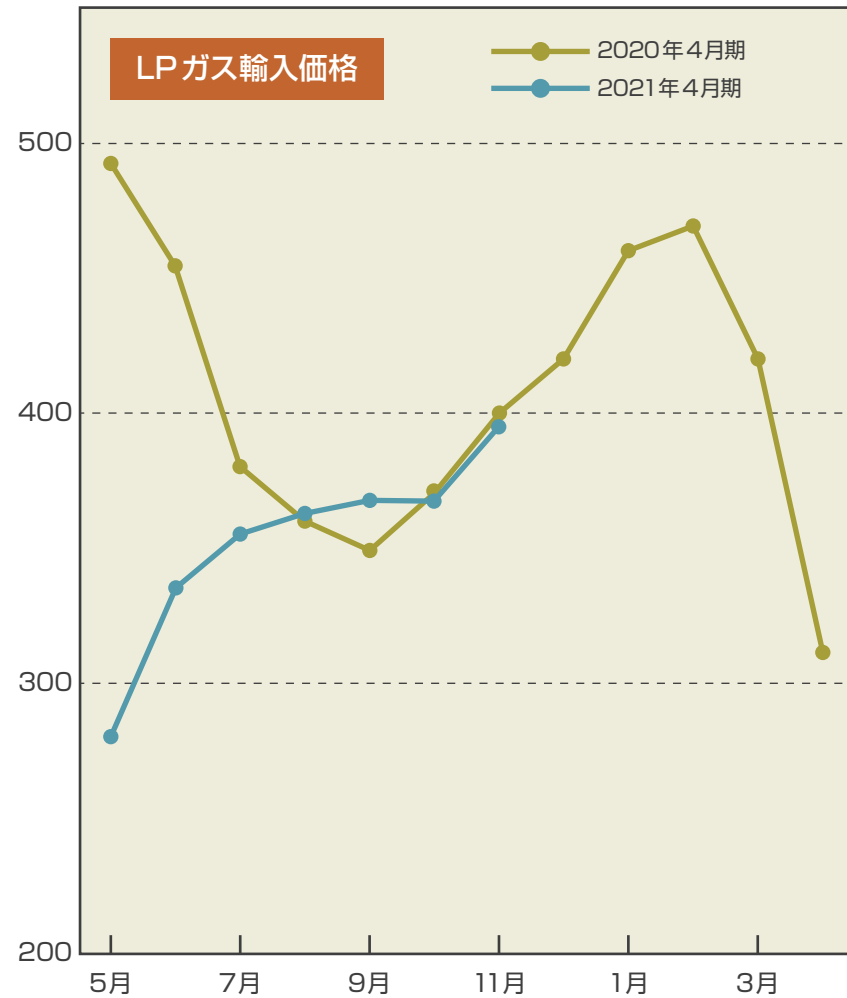
■関東一円を対象にバルク交換の受注に注力



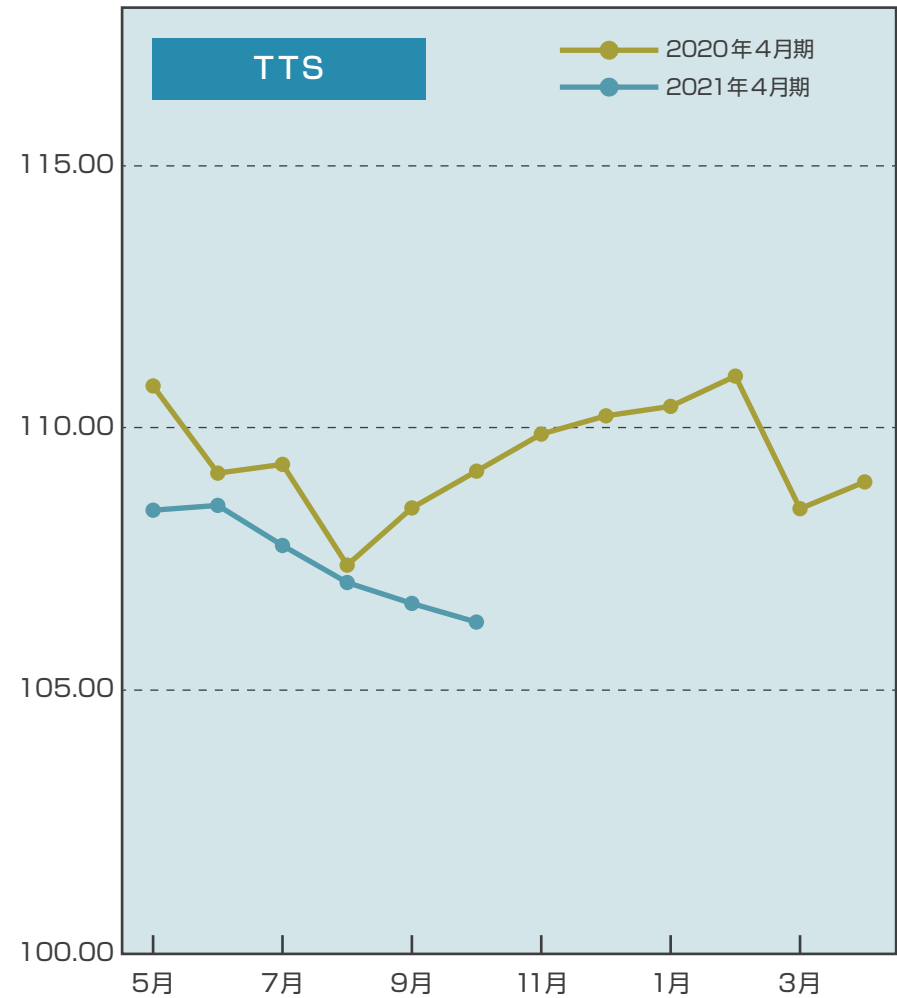
ご参考

LPガス輸入価格・TTS推移

(ドル/トン)



(円/ドル)



連結損益計算書推移

(単位：百万円)

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
売上高	22,706	21,906	23,231	23,709	23,016
売上原価	12,880	11,843	13,155	13,487	12,726
売上総利益	9,826	10,062	10,075	10,222	10,290
売上総利益率(%)	43.3	45.9	43.4	43.1	44.7
販売費及び一般管理費	7,951	8,098	8,323	8,594	8,869
営業利益	1,874	1,964	1,751	1,627	1,421
営業利益率(%)	8.3	9.0	7.5	6.9	6.2
経常利益	1,938	2,119	1,994	1,752	1,553
親会社株主に帰属する当期純利益	786	1,298	1,173	1,133	994
1株当たり当期純利益(円)	38.71	64.40	58.99	57.17	50.19

連結貸借対照表推移

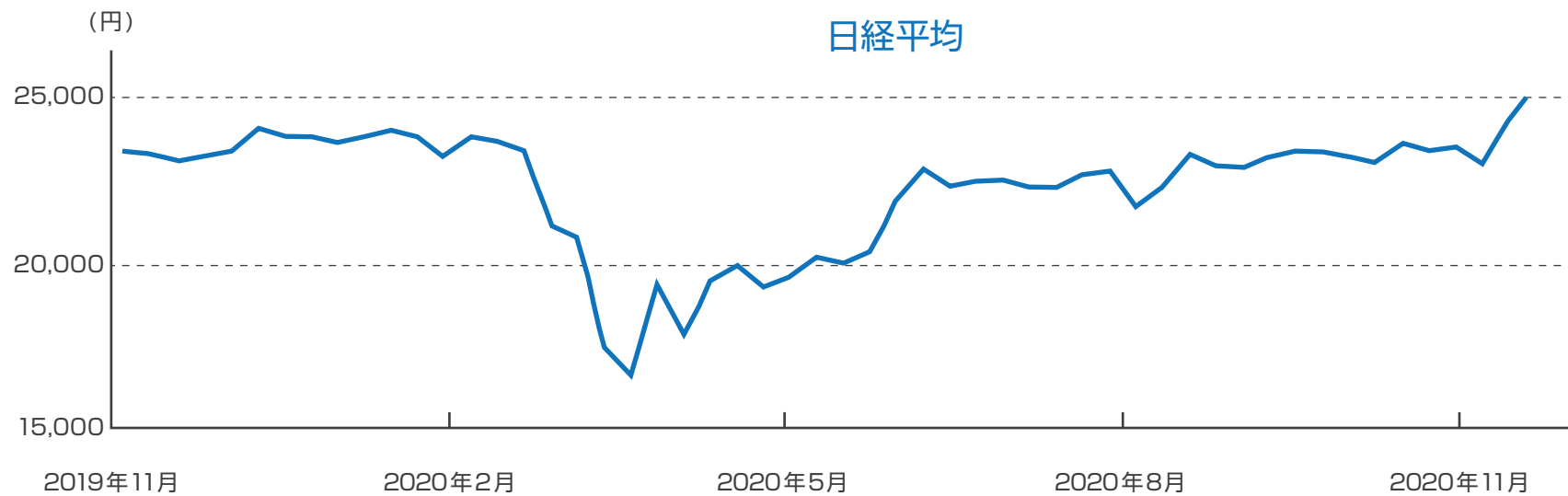
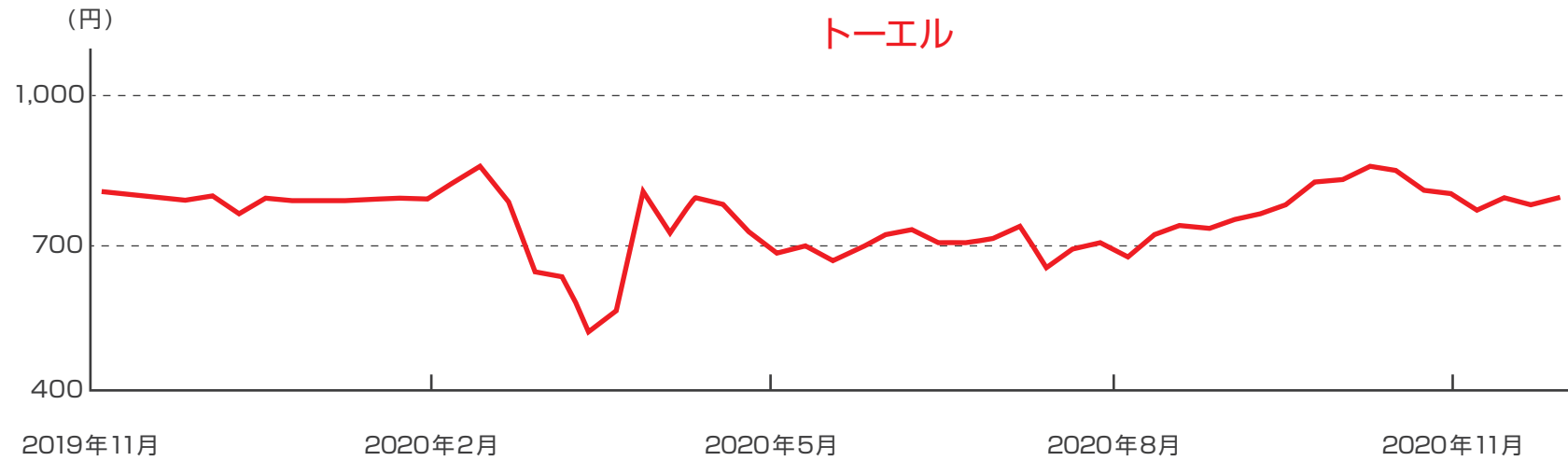
(単位：百万円)

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
流動資産合計	9,349	8,597	9,138	10,052	9,087
固定資産合計	14,517	14,568	15,061	15,420	15,651
有形固定資産	11,783	12,021	12,803	13,433	13,826
無形固定資産	971	803	570	377	272
投資その他の資産	1,762	1,743	1,687	1,609	1,551
資産合計	23,866	23,166	24,199	25,473	24,738
流動負債合計	6,664	5,480	5,697	5,785	4,976
固定負債合計	3,808	3,609	3,555	4,044	3,542
負債合計	10,473	9,089	9,253	9,830	8,519
株主資本合計	13,041	13,670	14,546	15,286	16,009
その他の包括利益累計額合計	350	395	390	344	200
非支配株主持分	—	9	9	11	9
純資産合計	13,392	14,076	14,946	15,642	16,219
負債純資産合計	23,866	23,166	24,199	25,473	24,738
流動比率(%)	140.3	156.9	160.4	173.7	182.6
自己資本比率(%)	56.1	60.7	61.7	61.4	65.5

主要な経営指標等の推移（連結）

経営成績（連結）	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率 (%)	56.1	60.7	61.7	61.4	65.5
EPS（1株当たり当期純利益）（円）	38.71	64.40	58.99	57.17	50.19
BPS（1株当たり純資産）（円）	659.81	707.04	750.77	789.83	817.55
PER（株価収益率）（倍）	19.74	14.10	17.99	13.43	13.53
PBR（株価純資産倍率）（倍）	1.20	1.28	1.41	0.97	0.83
ROA（総資産利益率）（%）	3.3	5.6	4.8	4.5	4.0
ROE（自己資本利益率）（%）	6.0	9.5	8.1	7.4	6.2

株価チャート



当資料に関して

当資料に記された当社の計画・見通し・戦略等のうち、過去の事実でないものは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいた将来の業績に対する見通しです。

実際の業績は様々な要因により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定要因には以下のものが含まれます。

- ①当社グループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②原油価格と連動性が強いLPガスの仕入価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象等

但し、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料はあくまで株式会社トーエルをより深く理解していただくためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

当資料に関する問い合わせ先 取締役 管理本部副本部長 笹山和則
〒223-8510 横浜市港北区高田西一丁目5番21号
TEL (045) 592-7777 FAX (045) 593-3259
<https://www.toell.co.jp>